

# JAPS ニュース 第15号

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-7 MARUZENビル1F (有)東京カラー工芸社内

TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp http://www.japs.jp/

## 頑張ろう日本、頑張ろう写真家たち！

会長 小川泰祐

今年は暑さのわりには全般に空が白く写真家泣かせの夏でした。

本来、今年9月下旬には、UIA世界建築家会議東京大会に併せて、日本建築写真家協会設立10周年企画写真展の開催を予定しておりました。2009年3月より写真展に向けUIA東京大会運営委員会と数度の協議を進め、会場及び会期も一応の決定を見ました。しかし、3月11日です。東日本大震災に伴う共催各企業の「節電計画」の影響で、UIA東京大会期間中の会場の確保が困難となりました。そして会場の変更、銀座ジャック写真展の再利用等さまざまな検討を重ねましたが、対費用効果を考慮し最終的には写真展開催を断念しました。写真展に向け、ご協力頂いた会員諸氏には大変ご迷惑をお掛けしました。心よりお詫び申し上げます。震災復興支援プロジェクト等、新たな提案をお寄せ頂ければ幸いです。

隔年開催の富士フォト写真展「光と空間建築の美—PART IX」は東京、大阪、福岡3会場の巡回も終了しました。今年は新潟在住の佐竹浩一会員の尽力により、新潟市開催が決まりました。(下記詳細)写真展会期中に

建築家山本理顕氏の講演会も開催されます。会員諸氏の積極的な出席を希望します。

DAASの問題に少し触れておきます。UIA東京大会開催時に向け3年前より会員の写真については「有償での写真提供」を前提にDAAS事務局とJAPS事務局で協議を重ねてきました。2011年4月、昨年度分提供写真の対価として200万円の入金がありました。当協会では当然順を追って入金されるものと思いつつ協議を進めてきましたが、昨年度以前分の使用許諾済の写真については未入金です。当然、異議を申し立てました。DAAS事務局では、国の予算の執行手順として過去の作業についての支払いは不可能との見解でした。納得の出来る話ではありません。未入金写真の支払いについてDASSの上部組織「一般社団法人住まい・まちづくり担い手支援機構」との話し合い場を要求しています。追って報告致します。

会員諸氏の情報、ご意見など役員会にお寄せください。この厳しい時代の日本建築写真家教会の活動の糧にしたいと思います。宜しくお願い致します。

## 日本建築写真家協会展「光と空間」—建築の美— Part IX

### 富士フィルム フォトサロンでの3会場巡回終了 / 入場者数

東京展	2011年6月10日(金)~6月16日(木)	5,778名
大阪展	2011年7月8日(金)~7月14日(木)	2,882名
福岡展	2011年7月29日(金)~8月4日(木)	約410名 (カウンターなし・目測)

左より

東京展 (撮影: 渡辺重任)  
大阪展 (撮影: 村田義彦)  
福岡展 (撮影: 佐藤二郎)



### 新潟展 開催決定 佐竹浩一 会員(新潟在住)の尽力により、新潟展開催が決まりました。

今年初めて新潟で開催させて頂くことになりました。開催に併せて山本理顕設計工場の山本理顕先生の講演を予定しております。建設業関係・設計事務所関係・設備関係の方だけでなくとどまらず設計関係の大学生をはじめ広く一般の皆様にも見ていただく事を目的としております。

新潟写真展 実行委員会  
代表 佐武浩一

写真展会場 新潟市美術館 市民ギャラリー

2011年12月9日(金) 13:00 ~

12月15日(木) 15:00

講演会会場 新潟市万代市民会館多目的ホール

2011年12月9日(金) 講演 18:30~20:30  
(受付 18:00)

## 第8回 日本建築写真家協会 総会・研究会・懇親会 報告

日時：2011年6月10日（金）17:30～20:30  
場所：銀座・桃杏楼（東京）  
出席者：73名（会員50名、ゲスト21名、事務局2名）

記：津布久 智  
写真：小野 吉彦  
渡辺 重任  
山田新治郎



### ●総会（司会 三輪晃士 会員）

#### ◎会長挨拶（小川泰祐 会長）

今年は富士フィルム様、加賀電子様に加え、ニコン様、キヤノン様にお越しいただき、研究会を催すことになりました。盛りだくさんの総会になります。最後まで楽しんで有意義な会にしましょう。また、著作権、写真使用料には会員個人の意識を高め、皆で頑張りましょう。

#### ◎事業報告（篠沢 裕 会員）

##### 2010年度報告（書面にて了承を受ける）

##### DAAS（建築空間アーカイブス）について

- ・「一般社団法人住まい・まちづくり担い手機構」、「建築・空間アーカイブス コンソーシアム」、「JAPS」の三者でDAASのWeb上の写真提供に関する契約書を交わした。
- ・DAASのWebに使用する会員の写真を提供し、4月22日税込200万円が入金された。

##### 2011年度計画（書面にて了承を受ける）

- ・隔年開催の写真展「光と空間」建築の美 PART・IXは富士フィルムフォトサロン東京、大阪、福岡で開催。  
東京 2011年6月10日（金）～6月16日（木）  
大阪 2011年7月8日（金）～7月14日（木）  
福岡 2011年7月29日（金）～8月4日（木）
- ・日本建築写真家協会設立10周年記念写真展について写真展予定会場が、節電計画等に含まれる為、UIA運営委員会と調整中。

◎UIA 東京大会全てのプロジェクトが東日本大震災の影響で進行が遅れている。

#### ◎会計報告（三輪晃士 会員）

- ・資料をもとに報告。
- ・会費増大のためにも会員増員に協力を呼びかけた。

#### ◎提案（堀内広治 副会長）

- ・会員名簿、会員証は2013年に発行予定。
- ・途中入会の方は仮の会員証を発行する。
- ・退会者の会員証は回収する。
- ・次回より会員証に有効期限を入れる。
- ・新入会員紹介：海老原一巳、金子美由紀、八幡輝幸、米田正彦、山崎浩治、藤井浩司さんの6名が紹介された。
- ・世話人紹介  
代表：高井 潔、会長：小川泰祐、副会長：堀内広治  
総務：篠沢 裕・木寺安彦・山崎望輝・丸山 泰  
事業：平井広行・山田新治郎・西出貴文  
会計：三輪晃士・上岡弘和  
広報：小野吉彦・渡辺重任・津布久智  
地区世話人：仙台/横山博志、名古屋/車田 保  
大阪/名執一雄、福岡/山本伸生
- ・事務局紹介 水谷一郎、榛葉知子（TCK）

#### ◎ホームページ（渡辺重仁 会員）

- ・記事投稿の積極的な会員の参加をお願いする。

#### ◎ニュース（小野吉彦 会員）

- ・会員だよりの投稿の呼びかけをする。

#### ◎挨拶（堀内広治 副会長）

よりよい会をめざして頑張りますので、皆様もよろしく願っています。

★ 以上の報告及び提案は、全員の賛同を得て了承された。



左：新入会員の皆さん  
上/右：世話人一同、事務局



●研究会

- ◎挨拶 高井 潔 代表
- ◎挨拶 富士フイルムプロ事業部 島田知明氏・前田邦男氏  
勝原潤氏・須長千江美女史
- 加賀電子コダック事業部 太田和信氏・野瀬真史氏
- キヤノンマーケティングジャパン キヤノンサロン  
松岡史洋氏・秋田佳則氏
- ニコン フェロー後藤研究室室長 後藤哲郎氏
- 開発 山本哲也氏・岩崎宏之氏・岩見謙一郎氏
- マーケティング 松島茂夫氏
- プロフェッショナルサポート部  
関口宏氏・森真次氏・相馬政則氏



●懇親会

- ◎挨拶 高井 潔 代表、協力会社、ゲスト紹介
- ◎乾杯 ニコン フェロー 後藤哲郎氏
- ◎挨拶 日本写真家協会 常務理事 木村恵一氏
- ◎閉会挨拶 堀内広治 副会長

上4点：各メーカー研究会  
右：懇親会、後藤氏の乾杯



出席者 (敬称略)

青山賢三、荒牧万佐行、飯嶋祐司、板山一三、海老原一己、大竹静市郎、大橋富夫、小川泰祐、奥村浩司、小野吉彦、勝田尚哉、金崎ただとし、金子美由紀、上岡弘和、川上 明、木寺安彦、絹巻 豊、車田 保、黒住直臣、小菅典明、佐武浩一、佐藤二郎、篠澤 裕、高井 潔、田中 豊、玉城年男、津布久智、中塚雅晴、中村 隆、名川明宏、名執一雄、西出貴文、野口 毅、林 広明、平井広行、堀内広治、丸山 泰、宮崎文雄、三輪晃士、村田義彦、八幡輝幸、山崎浩治、山崎望輝、山田新治郎、吉田敬子、吉村行雄、米倉栄治、米田正彦、渡辺重任、高島 (ナカサ&パートナーズ代理)

加賀ハイテック(野瀬真史)、キヤノンマーケティングジャパン(松岡史洋、秋田佳則)、写真弘社(柳澤卓司)、ニコン(後藤哲郎、山本哲也、岩崎宏之、岩見謙一郎、松島茂夫)、ニコンイメージングジャパン(関口 宏、森 真次、相馬政則)、日本写真家協会(木村恵一)、日本写真協会(上田裕一)、富士フイルム(島田知明、前島邦男、勝原 潤、須長千江美)、フレームマン(奈須田一志、中澤孝寛)、堀内カラー(石橋泰弘)、東京カラー工芸社/事務局 (水谷一郎、榛葉知子)

# 会員だより (99~106)

## ～ 会員の皆さんからの近況報告 ～

### 佐藤 周哉 (東京都中野区)

99

皆様、震災時はどのようにお過ごしでしたでしょうか？私はちょうど東京の自宅兼仕事場の2階で画像処理を行っている最中でした。慌てて外へ飛び出すと道路には同じように避難した人々。ポロ家もよく崩壊せずに持ってくれたと胸をなで下ろしたのです。

戦前に建てられたこの家は、左右に大きく振られ、壁に亀裂が入り、瓦が落ちて屋根はぐずぐずとなりました。その後、建築家や構造家に調査して頂き、もし次に大きな揺れがきたら危ないという事で今まさに耐震補強の工事をしている最中です。

被災地で津波や原発など大きな被害に遭われた方々のご苦勞に比べれば軽微な被害



ではありませんが、震災後は担当している某企業のPR誌の印刷用紙が入手できないなど、少なからず仕事面でも影響を受けました。

節電、自粛ムード、まだ年内は続くと思いますが、来年以降、復興需要も徐々に盛り上がってくる事に期待しています。

被災地で冷蔵庫が不足していると聞き、かつてフイルムのストック用に使っていた3台を被災地に届けて頂くようボランティアの方をお願いしました。

会員の皆様にも東北方面で家族やご親戚が被災された方がいらっしゃると思います。いち早い復興とご健勝をお祈りしております。

阿部 季弘（埼玉県さいたま市） 晩夏に想う ----- 100

今夏も暑さのピークを越え、朝・晩はかなり過ごし易く成ってきた今日この頃ですが、今年も残すところ後4ヶ月、毎年のことながら多少焦りを感じる季節です。しかし、ここまでの8ヵ月間を振り返ると、何と凄まじい年であることか。震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げると共に、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。  
震災当日、所沢市街でロケハン中に激震。道幅の狭いビル街の狭間で、もはや、これまでかと観念しかかった数十秒間でし

た。しかしその後、テレビで流れる津波映像には言葉を無くしてしまいました…。そして現在に至る福島原発の状況。正に風雲急を告げる一年に成ってしまいました。  
今後どの様な展開が待っているのか神のみぞ知るところですが、今一度、己に鞭を入れ直し、どんな現実にも正対できる精神だけは維持しなければと思います。「人間至る処青山在り」の言葉を胸に置きつつ。

佐武 浩一（新潟県新潟市） ----- 101

私が三輪晃久写真研究所で修行させて頂きたいと、懇願してわがままをお許し下さり勤務させて頂いた事は私の一生の財産となっております。三輪晃士所長には大変感謝しております。今でも電話等で声を聞くと元気になりますうれしい限りです。そんな私が新潟に帰郷して約3年がたちます。  
先日、2011年の総会があり久しぶりに上京しましたら懐かしい皆様の顔を拝見し短い時間でしたが有意義に過ごしました。その際に協会の写真展に足を運び暫く心休まる時間でした。その時、私は「この綺麗な写真を新潟の人達にも見せた

い」と思いました。事務局に「新潟開催をしたいのですが…」と相談したところ、快くOKが出ましたので新潟開催に向けて頑張ります。  
新潟開催は初めてなのでいろいろ準備等に時間を費やすと思えます。これから会長をはじめ事務局や会員の皆様にご協力をお願いすると思えますが、何とぞ宜しくお願い致します。  
新潟開催に向けて頑張ります！！

(編集部注：開催決定前に投稿いただきました)

伊東 泰生（神奈川県横浜市） 洋館風の銭湯 ----- 102

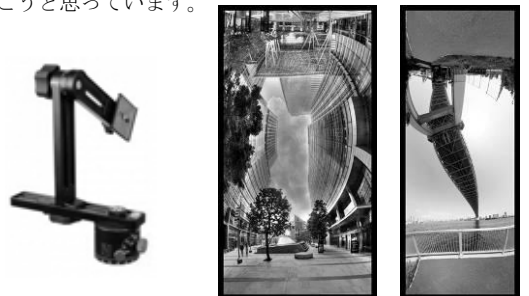
私が生まれ育った田舎町には、かつて昭和初期に建てられた洋館風の銭湯があった。一見すると、外観はゴシック風の高さがある造りで、建物の周辺には、人家が数軒とそれらを囲むように田んぼが広がり、夏の闇夜には螢が飛び、蛙の鳴き声が響いていた。それは宮崎駿の映画に出てきそうな雰囲気とも言えるかも知れない。  
銭湯内部の造作や広さなどはごく普通だが、洗い場の天井高は印象的だった。子供心にどことなく居心地が良かったのは、その見上げる空間と音の響きだったように思う。衣服を脱いで

置くための木製ロッカーと、別に大きめの竹籠が何個もあり、概ねその中へボイと入れたまま風呂に浸かっていた。昔の田舎町のことであり、そんな光景が自然だった。銭湯の湯は、敷地から無色透明の温泉が出ていて、温度が低めのため沸かして使っていた。  
やがて半世紀程の銭湯としての役目を終え、廃墟のまま放置されて、数十年が経過した。そして今日でも崩れ落ちた残骸が時を刻んでいる。建物の屍が人に何かを語りかけているような、不思議な様である。

金崎 ただし（東京都杉並区） パノラマ写真 ----- 103

ドイツの写真投稿サイトの会員になったのがきっかけで、メンバーの撮影された360度パノラマ写真見る機会が有りました。今まで自分が知っていたパノラマ写真とは違う何かの探求心に火をつけたようで、その写真を写した方に直接メールをしてどういった風に撮影したかを問い合わせしてみました、それは今まで自分が知っていた方法とは根本から違うものでした。これは是非、自分でも試してみたいとの思いが日毎強くなっていきました。インターネットを駆使して撮影装置、方法、注意点等々を探し出でての勉強が始まりました。  
その年の終わりには自分でドイツとアメリカから撮影装置(パノラマアダプター)を直接購入し本格的にパノラマ写真の世界に飛び込みました。その時に非常に残念に思ったのが日本の写真機材・用品メーカーがどこもこの撮影装置を作ってもいない販売もしていなかったことでした。最近国内にも販売している会社もちらほら現れましたが直接本国から買うよりもかなり高い値段設定に成っているのが残念です。

そのパノラマ写真も最近は横位置パノラマにプラスして縦位置でのパノラマ撮影にも非常に興味を覚えています。作例を見ていただくと解ると思いますが建造物の下から上を見上げ、前後を見ているような感じの写真を作ることが出来ます。  
そんな訳でこれからは時間の許す限りパノラマ写真に挑戦していこうと思っています。



松嶋 惇（東京都中野区） ----- 104

時代の変遷にともないプロとしての職業が消えて行く。例えば、タイピストと云う職業は完全になくなり、今はパソコンに取って代わり一般人が行う。カメラマンもこのままではデジタルに取って代われ消えて行く職業になるのではないだろうか。写真作家、記録写真、趣味写真を撮る人には関係ないことだろうか。  
カタログ、パンフの制作の場合、デザイナー、レイアウトマ

ンが許可なくパソコン等より写真を取り出し、合成・加工し、オリジナリティをこわし使用している現状である。一考の必要があるのではないだろうか。  
写真展の場合、展示方法としてフィルム写真とデジタル写真を分けて展示しては行かないか。  
日本建築写真家協会として、色々の問題点を協議する機会をぜひ作っていただけないだろうか。

中村 隆（東京都新宿区） ----- 105

酒林（杉玉）と言うものをご存じだろうか。そう、居酒屋の店先などで見る杉の葉で出来た球状の造形物である。酒林は本来日本酒蔵の軒先に飾られる物で、蒼々とした酒林が吊されると、新酒ができあがった事を知らせ、それが枯れ茶色がかってくると、酒が熟成されたことを表すのだ。

外房にある木戸泉酒造では毎年季節になると酒林を作る会が催され、私はここ数年参加させていただいている。酒林というと通常は直径50cm程度の物が多いが、この酒林は直径2m弱、重さも300kgにも達する巨大なものだ。それを、都内を中心とする木戸泉ファン30名程で、ほぼ丸1日をかけて制作する。



この作業が思った以上に重労働で終わりの頃には皆筋肉痛になっている。

そして、作業が終了すると、蔵人や地元の有志たちを交えての宴会が蔵内で始まる。もちろん、出来上がったばかりの、その年最初の新酒を頂けるのである。この搾りたての新酒はフレッシュではあるが、度数の高い原酒であるため骨太な所もある。酸味が特徴ではあるが、スコスコ呑めてしまうととても危険なお酒なのだ。こんなお酒を飲めるのも蔵ならではの、お店や家庭では絶対に味わえない。

今年もあと3ヶ月と少しでこの会の季節。間違いなく参加するであろう。

玉城 俊男（兵庫県猪名川町）写真展によせて ----- 106

大阪展も無事終わりました。これもひとえに会長、役員、世話人の方々にご足労わずらわせたと思い、お礼申し上げます。つきましては、この写真展について私見を述べたいと思います。

会場には写真家、建築家、また一般の写真に興味がある方、特にカメラ女子といわれている方等、大勢の鑑賞者が来られました。そこでよく作品について質問があり、わかる範囲の事は説明しました。小生の作品は無論ですが、ある方の作品は撮影許可を申請し、当日は朝5時過ぎに現地に入り、ガードマン立会いで光線等勘案しこの時間に撮影したこと等、多々説明致し

ますと大変理解をされ、我々の職業認識も高まったかと思えます。

そこで、一般の方々にも建築写真家がどのようなことをしているのか知ってもらうためにも、作品にキャプション等を記入すれば、より作品について具体的に説明できたかと思えます。それが難しければ、会場スタッフの手元に説明文またはメモ書き等簡便なものがあれば、もう少し丁寧に説明できたかと考えますので、一考を要するかとも思えます。

●日本建築写真家協会 世話人会報告 (55~58) ●

代表：高井 潔  
 会長：小川泰祐  
 副会長：堀内広治  
 総務：篠沢 裕・木寺安彦・山崎望輝・丸山 泰  
 会計：三輪晃士・上岡弘和

事業：平井広行・山田新治郎・西出貴文  
 広報：小野吉彦・渡辺重任・津布久智  
 仙台：横山博志 名古屋：車田 保  
 大阪：名執一雄 福岡：山本伸生

●第55回 2011/05/13 カルフール貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 小川泰祐、小野吉彦、金崎ただし、上岡弘和、篠澤 裕、高井 潔、津布久智、西出貴文、堀内広治、三輪晃士、山崎望輝、山田新治郎、渡辺重任
- 総会/出席者が少ない→電話する。新入会員の欠席が多い。式次第・事業報告・会計報告を紙面にして渡す。
- 研究会/メーカーブースを作る。メーカーへ質問が2,3しかない。メーカーの講習会、プロモーションをして欲しい。
- 会員証に有効期限を入れる→見積をとる。
- DAAS、10周年写真展、富士フォト写真展について確認。

●第56回 2011/05/28 T C K事務所 15:00~17:00

- (出席) 小川泰祐、小野吉彦、篠澤 裕、高井 潔、平井広行、堀内広治、三輪晃士、山崎望輝
- 総会・研究会/式次第検討。出席者予定(会員50名うち新入会員5名、ゲストは20名)→料理量検討。メーカーの肩書確認。研究会のテーブルサイズ検討。
- 会員証は3年毎に作成。今年新入会員は仮会員証でつくる。
- 会員名簿は毎年ペラ紙で増補入れる。
- 6月9日富士フォト搬入。日刊紙に写真展PR。
- 「世話人会」の名称今後変更検討。
- 10周年写真展、状況確認。

●第57回 2011/07/08 カルフール貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、高井 潔、堀内広治、丸山 泰、三輪晃士、山崎望輝、渡辺重任
- 15号ニュース会員日より10名決定。
- 次回ニュース15号発送時に「会計報告」とピンク紙で「ホームページ用原稿募集」を入れる。
- 前回 JAPS からの総会案内郵便物、差出人名が無かった。
- 富士フォト大阪、7月7日搬入に小川、堀内行く。
- 大阪の若い会員に世話人会を体験させる。
- (案)大阪会員に年10万円支給 or 7割支給で3回程度、東京世話人会へ出席願う。東京からも大阪会議に出席してみる。
- 10周年写真展会場未定→7月15日までに返事もらう。
- 新入会員へ会員証発行。

●第58回 2011/09/09 カルフール貸会議室 18:00~20:00

- (出席) 小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、高井 潔、平井広行、堀内広治、三輪晃士、山崎望輝、山田新治郎
- 「光と空間IX」新潟展決定、佐武浩一実行委員長。
- 10周年写真展、UIA2011 関連では実行しない事とした。
- ニュースへ「富士フォト大阪、福岡報告」「新潟展案内」を載せる。
- DAASの前年度、前々年度支払の件を検討。

# 掲示板

最新情報はホームページをご覧ください。



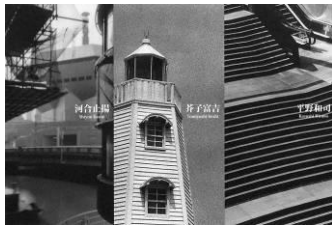
①



②



③



④⑤



⑥



⑦

**大野 繁** 写真展① 「 Istanblue Turkired 」 2011年10月11日～23日  
表参道アルスギャラリー（東京都渋谷区）

**勝田 尚哉** 写真展② 「 築く II 」 2011年6月8日～20日 ペンタックスフォーラム  
（東京都新宿区） **（終了）**

**金崎ただとし** 監修③ 「 第9回けんとからぶ写真展 & 第7回大伸ばし写真展 」  
東京展：フレームマンエキシビジョンサロン銀座 2011年8月26日～9月1日 **（終了）**  
京都展：下鴨・ギャラリーDOT 2011年10月7日～19日

**芥子 富吉** 写真展④ 「 建築写真散策 関西を巡るフォトスケッチ 」  
2011年9月13日～25日 一燈舎（大阪市中央区） **（終了）**

**平野 和司** 写真展⑤ 同上

**渡辺 重任** 写真展⑥ 「 足尾銅山写真展 山肌の記憶 」 2011年9月1日～11月30日  
NPO法人 足尾歴史館（栃木県日光市）

## 新入会員

**川村 剛弘** ⑦ 〒 [Redacted] TEL: [Redacted] / FAX: [Redacted]

## 連絡先等変更 住所・連絡先等変更がありましたら、必ず事務局にご連絡ください。

**飯野 勇一**（携帯電話番号 変更） [Redacted]  
**富田 治**（住所、TEL、FAX 変更） 〒 [Redacted] TEL/FAX: [Redacted]  
**津布久 智**（住所、TEL、FAX 変更） 〒 [Redacted] TEL: [Redacted] / FAX: [Redacted]

## 訂正 お詫び申し上げます

ニュース第14号1p 巻頭 × 「東北関東大震災」 → ○ 「東日本大震災」（発行時点で既に東日本でした）  
ニュース第14号1p DAAS 記事 3,500円の内訳 × 「事務局への支払い データ化手数料」  
○ 「東京カラーエ芸社への支払い データ化手数料」

事務局 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp